

令和6年度 自己評価結果公表シート

学校法人 阪口学園 美鳩幼稚園

1、本園の教育目標

教育方針「清く・明るく・たくましく」

- ◎基本的な生活習慣や道徳心を育てる
- ◎思考力、創造性や豊かな情操を培う
- ◎知・情・体 三位一体の総合教育を行う

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

少子化や社会的ニーズの変化に伴って、園児数の減少が続いている。また、退職者を補充する新規雇用も難しく、専任教職員の人数も減ってきている。このような現状の中であるが、子どもたちに必要な保育環境を確保するため、保育内容や行事を見直していく。あわせて、教職員の勤務環境改善について検討を深めていく。

3、評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|------------|---|
| 保育内容の精選 | 年長児では、ミスターXというキャラクターを設定し、園児が彼からの挑戦をどのように受け止め、どのようにミッションをクリアしていくか話し合っていく活動に年間を通して取り組んだ。園児たちの話し合いの機会が増え、自分たちで考える活動に結び付けることができた。 |
| 保護者との連携の強化 | 今年度も、Instagram や Facebook で「今日の1枚」として毎日発信した。個人情報保護との兼ね合いもあるが、保護者からは、園の日常を理解できると、おおむね好評であった。 |
| 勤務環境の改善 | 非常勤職員を新たに雇用し、保育補助のほか、来訪者対応や清掃業務など、日常的な業務に携わってもらった。 |

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

急激な園児数減少に対して、どのように対応するかという課題の中、幼児教育の原点に立ち戻り、一人一人の子どもが自分で考え行動できるようになることを目標に、保育内容の見直しを行った。ミスターXが誰であるか、謎を残したままの卒園となったが、子供たちの成長を遠くから見守ってくれている人がいるのだと、園児の心に残ってくれていることを願う。

園児数減に伴って、教職員数も減少しているので、保育以外の日常の業務負担が過大になってきている。パート雇用やシルバー人材センターなど、これまでの専任以外での雇用形態について、さらに検討していく必要がある。

5、今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|--------------|--|
| 保育内容の精選と情報発信 | 園での保育内容について、そのねらいや目標、取り組みで期待できる効果などを、保護者へ理解を求めるとともに情報発信していく。 |
| 勤務環境の改善 | 限られた人数での園運営では、教職員ひとりひとりが分担する業務が増加してしまう。非常勤職員との業務分担など、負担軽減について検討する。 |